台風第１８号において河川氾濫のおそれがあったため、ホットライン、緊急速報メールを実施しました。排水ポンプ車が出動し、排水作業を支援しました。

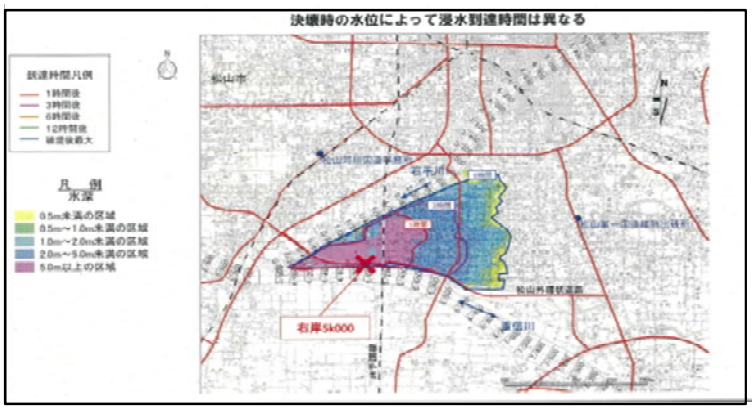
平成29年9月17日（日）に台風第18号により、重信川では氾濫危険水位を超える大きな出水となりました。松山河川国道事務所では氾濫危険水位の超過が予測されたため、事務所長から松山市長（代理）、松前町長へ逼迫した河川の状況をホットラインにより伝達し、あわせて分かり易い浸水想定区域図を提供しました。

それを受けた松山市、松前町は、対象地域へ避難勧告を発令するなど、住民への避難の呼びかけを実施しました。また、四国で初めて、緊急速報メールにより氾濫危険情報を住民等に配信しました。

その他、砥部町からの要請により排水ポンプ車が出動して、砥部町高尾田地区の排水作業を支援し、被害減少に努めました。

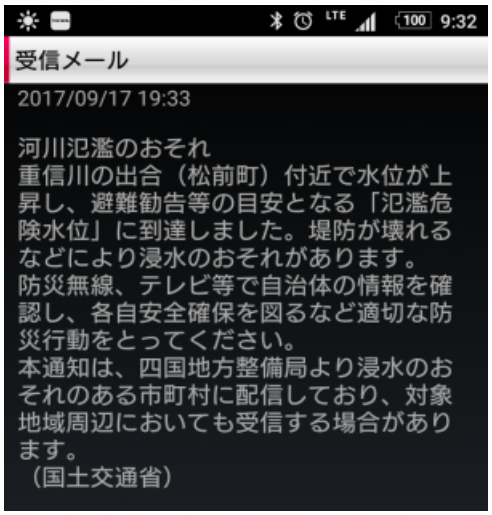
事務所長から市長へのホットライン

氾濫危険水位に迫る重信川



国土地理院の電子地形図25000を使用

参考送付した浸水想定区域図



緊急速報メール配信画面

国交省排水ポンプ車

排水状況